

シラス卵稚仔分布調査情報(No.6)

平成 29 年 9 月 25 日(月)に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

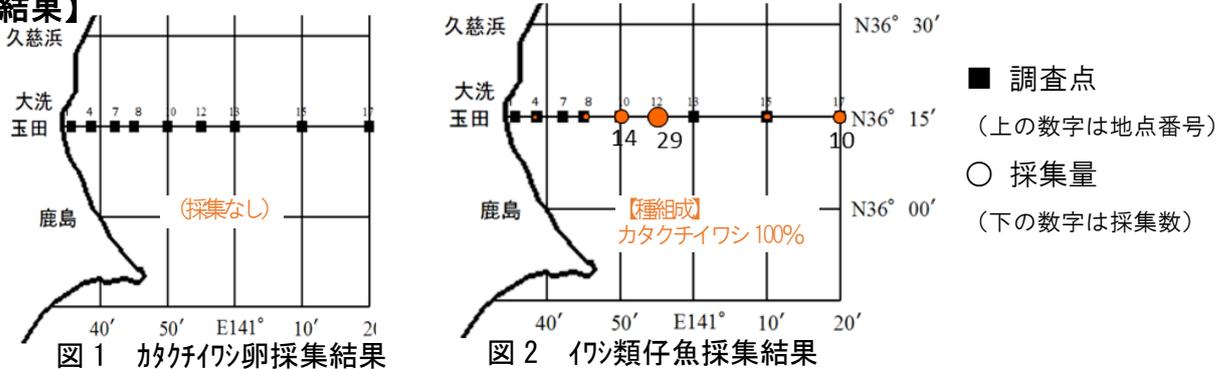


表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度	140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'	20'
	離岸距離(マイル)	1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
観測結果	水深	15m	26m	38m	51m	119m	263m	519m	769m	1000m
	水温 0m	22.8	22.4	22.2	22.4	22.7	22.3	22.6	22.1	22.5
	50m	-	-	-	-	16.9	16.9	16.9	16.7	17.9
	100m	-	-	-	-	14.0	12.7	13.0	12.1	12.1
	流向° (10m)	-	237	282	217	212	121	132	141	143
流速Kt(10m)	-	0.4	0.1	0.1	0.1	1.0	0.9	1.2	0.7	

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で 22℃ 台、水深 100m 層で 12~14℃ 台で、表層では前月より 3~5℃ 降温しました。また潮流については、東経 140° 55' 以東で強い出潮（東向きの潮）が観測されました（上表）。

カタチイワシ卵およびイワシ類仔魚の採集量は少なく（図 1, 2）、平年を下回りました。

現在沿岸域には黒潮系暖水が残り、南部を中心にシラスが水揚げされています（図 3）。今回の調査結果より、本県沖の卵稚仔分布量は低水準と推察されることから、今後のシラス漁況は黒潮の暖水波及に左右されると考えられます。

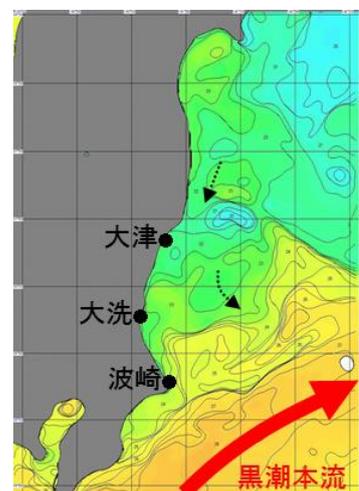


図 3 NOAA 衛星画像(9/27)